

科目（講座名）		政治・経済	2単位	必修
教科書	高校 政治・経済（実教出版）		担当教諭	
副教材	なし			

学習の目標

民主主義の本質を理解し、広い視野から現代の政治・経済・国際関係について客観的に理解する力を身につけることを目標とする。

授業内容

政治・経済・国際関係などに関する諸課題について学習する。公民的分野の、基礎的・基本的事項に関して学習する。

学習方法

板書を中心とした一斉授業形式をとり、必要に応じてプリント学習を併用する。また、随時演習ノートを使用する。

評価の観点

関心・意欲・態度	現代の政治・経済・国際関係について関心を高め、それぞれの課題を意欲的に追究するとともに、客観的に考えようとする態度を身につけている。
思考・判断	現代の政治・経済・国際関係に関わる事象から課題を見だし、その課題の本質や望ましい解決の在り方などについて、広い視野に立って多角的・多面的に考察し、様々な立場を踏まえながら公正に判断している。
技能・表現	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々な手段を通して収集し、かつ、集めた情報を主体的に選択し活用するとともに、追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現できる。
知識・理解	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や理論などを理解し、その知識を身につけている。

評価方法

前記の観点について、年間の成績を総合的に判断し評価する。

年間計画

学期	月	配当 時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4 5 6 7	2 6	現代の政治	民主政治の基本原理 日本国憲法の基本的性格 日本の政治機構 現代日本の政治 現代の国際政治	基本的人権の意義、法の支配、民主政治の発達と人権の発達、世界の政治体制、20 世紀の教訓を学習し、民主政治の課題は何か考える。 日本国憲法の成立、日本国憲法における平和主義、基本的人権の保障の内容を学習し、今日における日本国憲法の意義を理解する。 日本の国会、内閣、裁判所、地方自治のしくみを学習し、民主主義がどのように実現されているか理解し、他の国の制度とくらべて今後の課題は何か考える。 国際政治と国際法の意義、国際連合の成立と活動、東西冷戦終結後の国際政治、核軍縮や管理について学習し、国際政治と日本の関係について考える。
2	9 10 11 12	2 8	現代の経済	経済社会の変容 現代経済のしくみ 現代経済と福祉の向上 世界経済と日本	経済活動の特徴、資本主義経済の発達と変容、資本主義経済の特徴について学習し、経済活動の意義について考える。 経済主体の役割、市場のしくみ、国民所得、経済成長、金融のしくみ、財政の役割を学習し、経済活動がどのように調整されているか考える。 日本経済の発達のながれ、中小企業問題、日本の農業、国民の生活、環境・公害問題、労働問題、社会保障の役割について学習し、さまざまな課題にどのように取り組むべきか考える。 商品・資本の国際取引、国際収支、資本主義経済の展開、南北問題を学習し、世界経済と日本経済のかかわりについて考える。
3	1 2 3	1 6	現代社会の諸課題	人種・民族問題 核兵器と軍縮 国際経済格差の是正と国際協力	商品・資本の国際取引、国際収支、資本主義経済の展開、南北問題を学習し、世界経済と日本経済のかかわりについて考える。 軍事力や力の政治によってのみでは、国際問題の最終的解決は不可能であり、国連をはじめとする多国間での協議の必要性が高まっていることを理解させる。